

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

上記基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故
その他やむを得ない事情によって電子公告に
よる公告をすることができない場合は、日本経
済新聞に掲載します。

公告掲載 URL (https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

IR情報は、当社ホームページ
「株主・投資家情報」をご覧ください
<https://www.sunwa.co.jp>



株主の皆様の
声をお聞かせください

コエキク

<https://koekiku.jp>

アクセスキー ●●●●



株主アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で**500円**分のギフト券を
プレゼント!

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

SUN-WA TECHNOS
サンワテクノス株式会社

証券コード8137

第78期 中間株主通信

2025年4月1日~2025年9月30日



サンワテクノス株式会社

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

● MESSAGE / 株主の皆様へ

新中計を基盤に事業改革と成長投資を推進し、持続的な企業価値向上を目指します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年10月31日に、2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算を公表いたしました。当中間期の営業利益は、14億64百万円と前年同期を若干下回ったものの公表値に対しては大きく上回って着地しました。売上高は、公表値をわずかに下回りましたが、前年同期並みの結果となりました。

2026年3月期の通期予想につきましては、新規受注の水準は着実に回復しているものの、海外の需要回復が遅れていることから、通期見通し(2025年5月9日発表)を据え置いております。

さて、当社は5月9日に第12次中期経営計画「SUN-WA Growth Plan 2027(SGP2027)」を発表いたしました。今年度はその初年度として、各施策の具体化に注力しております。

「市場環境の変化に適合する事業構造改革」と「3つの成長戦略による収益力の強化」の一環として、従来の3つの事業区分(電機・電子・機械)を改め、10月より新たに営業本部内に4つの部門(電子コンポーネント、制御デバイス、産業用PC、ファンソリューション)を設置しました。各部門長の立案した方針に基づき、主要仕入先と戦略・施策を共有し、優良顧客の開拓を進めてまいります。

エリア戦略では、昨年度より国内を5支社、海外を3地域統括に区分しており、今年度は、各支社長・地域統括部長への決裁権限の委譲を進めることで、意思決定のスピードアップを進めています。また、社内の評価基準にサンワ版



代表取締役社長 松尾 晶広

ROICを取り入れることで、資本収益性を意識した経営の社内浸透を図っています。

顧客セグメント戦略では、従来の6つのセグメントに加え、「医療機器」「社会インフラ」を追加しました。「エリア戦略」「商品戦略」「顧客セグメント戦略」の各戦略が相互に作用することにより、収益力を強化してまいります。

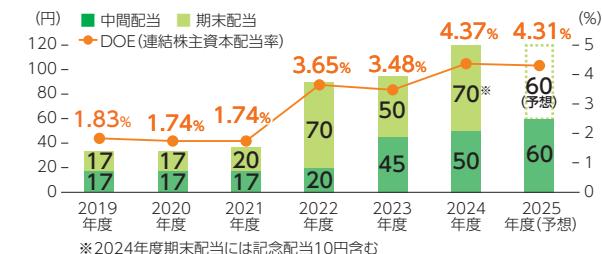
「事業協調型の投資」としては、9月に株式会社エムテック、10月にHTK Europe LTD.(現:SUN-WA TECHNOS(UK) Connect Solutions Ltd.)をグループに迎え、メーカー機能を付加することができました。今後は、2社の商品をサンワテクノスの独自商品として販売し、顧客への提供価値向上に繋げてまいります。

サンワテクノスグループの長期ビジョン「世界中の技術をつなぎ 新たな価値を創造し 豊かな社会づくりを支える」を実現するため、全社一丸となって取り組み、お客様、仕入先の皆様と力を合わせて企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 株主還元について

- 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- 毎年の配当金はDOE(連結株主資本配当率)4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



● 株主優待制度について(2026年3月末より拡充及び優待品目変更)

この度、株主優待制度の内容を一部変更いたしました。

長期保有優待(2年以上)の廃止、保有株式数の区分変更することで今後新たに投資を始める方にも当社株式を保有していただき、新NISA枠を柔軟にご活用いただけるよう株主優待制度を拡充いたしました。加えて、当社株主優待制度における株主の皆様への利便性向上を目的に優待品目をQUOカードからデジタルギフトへ変更することいたしました。

株主優待の内容

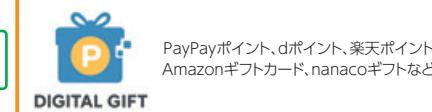
● 2025年5月9日公表(変更前)

| 保有株式数 | 株式保有期間2年未満 | 株式保有期間2年以上 |
|-------------|------------|------------|
| 100株~200株未満 | 1,000円 | 左記に+1,000円 |
| 200株以上 | 3,000円 | 左記に+2,000円 |

②保有株式数の区分変更(400株以上、800株以上を新設)



③優待品目の変更(QUOカードからデジタルギフトへ変更)



● 2025年10月31日公表(2026年3月末より変更)

| 保有株式数 | ①長期保有優待(2年以上)の廃止(株式保有期間の制限なしに変更) |
|---------------|----------------------------------|
| 100株~200株未満 | 2,000円分 |
| 200株以上~400株未満 | 5,000円分 |
| 400株以上~800株未満 | 10,000円分 |
| 800株以上~ | 20,000円分 |

対象となる株主様

2026年3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された

100株(1単元)以上

保有されている株主様より変更後の制度を適用いたします。

贈呈時期

3月末を基準日として、定時株主総会後に発送する株主通信に「株主優待のご案内」を同封し、年1回贈呈いたします。

「株主優待のご案内」に沿ってWEB上でご希望の品目を選択していただき、受取手続きをお願いいたします。なお、選択期間を過ぎた場合は受取手続きができなくなるため、選択期間内の受取手続き完了をお願いいたします。

詳細につきましては当社コーポレートサイトをご覧ください
<https://www.sunwa.co.jp/ir/stockholder/dividend/>



Topics

当社協賛女子プロゴルフトーナメントで16歳アマチュア選手がホールインワン達成!

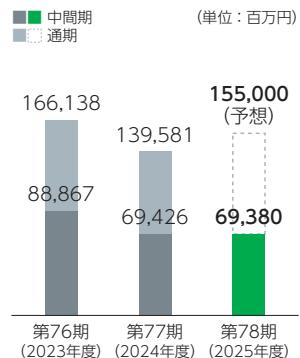
当社が協賛した「第37回スタンレーレディスホンダゴルフトーナメント」で、大阪桐蔭高2年の16歳アマチュア・岩永杏奈選手が見事ホールインワンを達成しました。スポーツ振興活動の一環としてホールインワン賞で協賛した大会が、大いに盛り上がりました。



決算ハイライト

売上高

693億80百万円
前年同期比0.1%減



営業利益

14億64百万円
前年同期比11.2%減



経常利益

17億68百万円
前年同期比5.2%増



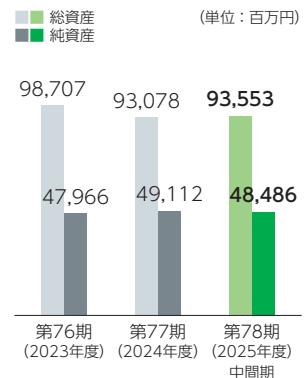
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

12億7百万円
前年同期比5.1%減



総資産／純資産

総資産 935億53百万円
前年同期比0.5%増
純資産 484億86百万円
前年同期比1.3%減



1株当たり純資産／自己資本比率

1株当たり純資産 3,166円2銭
前年同期比2.1%減
自己資本比率 51.5%
前年同期比1.3ポイント減



通期の見通し

・第2四半期(中間期)連結業績は各段階利益において予想数値を上回るが、海外の需要の回復が遅れていることから、通期見通し(2025年5月9日発表)を据え置く

第78期(2025年度) 通期業績予想

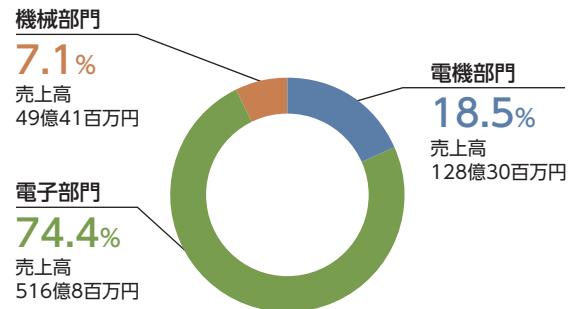
| | |
|-----------------|---------------------------|
| 売上高 | 155,000百万円 (前年同期比 11.0%増) |
| 営業利益 | 3,500百万円 (前年同期比 0.2%減) |
| 経常利益 | 3,760百万円 (前年同期比 1.5%減) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,610百万円 (前年同期比 6.8%増) |
| 1株当たり当期純利益 | 171円68銭 |
| DOE | 4.3%(予定) |

(注) 業績予想につきましては、2025年10月31日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

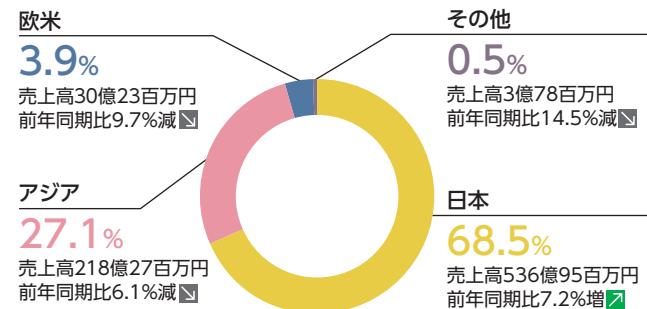
決算ポイント

- ・売上高は前年同期と同等。売上総利益率は改善したが、為替の影響による利益の押し下げとM&Aに関する費用の計上等により販管費が増加し、営業利益は前年同期比減益
- ・売上総利益率が期初想定時よりも改善し、販管費の縮減を続けたことで、各段階利益は予想数値を上回る

部門別売上高の構成



地域別売上高の構成



- (注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
 (注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。
 (注3) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

決算説明会資料／動画配信のご案内

11月11日(火)に、「2026年3月期第2四半期(中間期)決算説明会」を実施いたしました。当社ホームページにて、決算説明会資料の掲載、決算説明会でのプレゼンテーションの動画を配信しておりますので、ぜひご覧ください。

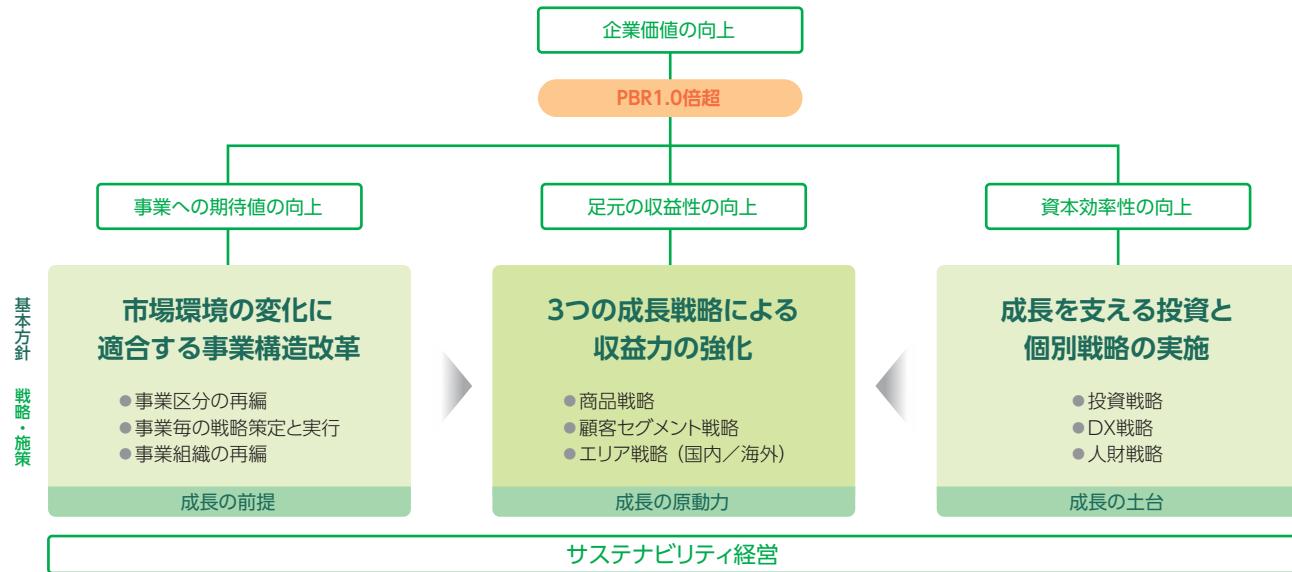
URL
<https://www.sunwa.co.jp/ir/event/presentations/>



第12次 中期経営計画 (2025年度～2027年度)



価値ある提案力を高め、製造業の未来に貢献する



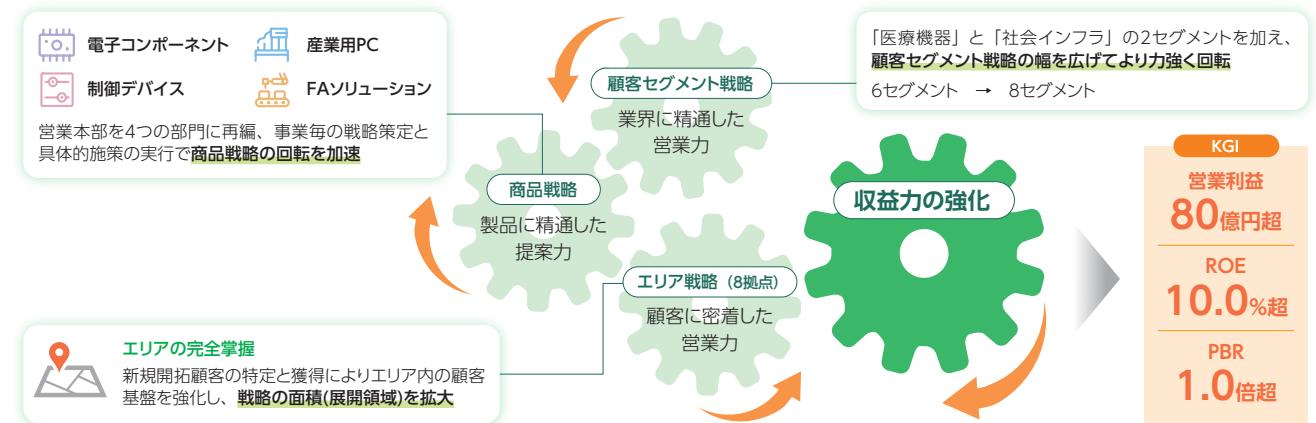
経営目標

| | 2027年度目標 | 2022-24年度 (3ヶ年平均実績) |
|------|----------|------------------------|
| 営業利益 | 80億円超 | 57億円 |
| ROE | 10.0%超 | 9.7% |
| PBR | 1.0倍超 | 0.70倍 |

市場環境の変化に適合する事業構造改革



3つの成長戦略による収益力の強化



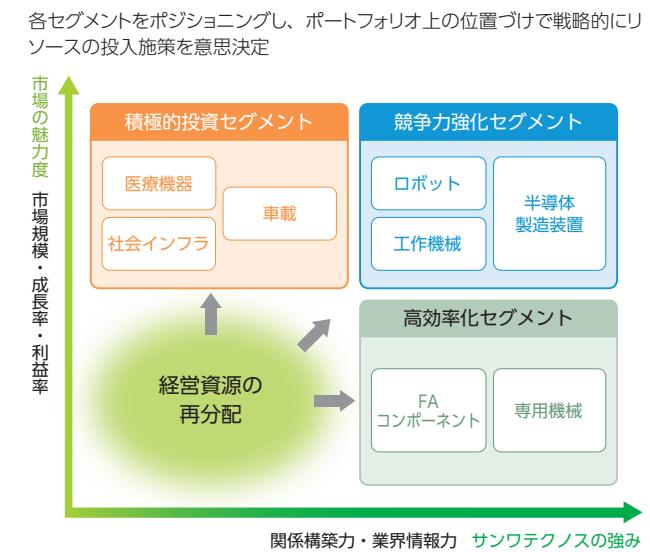
商品戦略 4部門の重点取り組みテーマ

| | | |
|-----------|--------------------------------|--|
| 電子コンポーネント | 電子・機構部品及び加工組立された商品を提供する事業 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 成長市場 (AI・モビリティ等) への展開を加速 ✓ サプライチェーン多様化に対応するグローバル供給体制の再構築 |
| 制御デバイス | 産業システムや機械の制御・管理する商品を提供する事業 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 半導体・工作機械分野での新規開拓と深耕 ✓ 安全・品質・トレーサビリティ対応製品の拡販 |
| 産業用PC | 産業用PCを活用したハードウェア・ソフトウェアを提供する事業 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ AI・IoTに対応した高性能製品の拡充 ✓ サイバーリスクに対応するセキュリティ対策製品の拡販強化 |
| FAソリューション | FA市場での効率化、品質向上ソリューションを提供する事業 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動化・省人化ソリューションの提供による生産性向上への貢献 ✓ 変種変量・高難易度自動化領域へのソリューション提案 |

DX戦略: 攻めのDXへのシフトにより顧客への価値提供を強化

- 新SDX**
- 「業務効率化×標準化×スリム化」を実現する次世代基幹システムの導入準備
 - 国内外の経営・業務データの収集と活用によりグローバル経営の意思決定を加速
 - 営業・マーケティング情報のAI・データ分析により営業戦略を強化
 - スマート物流見える化システムで物流拠点最適化と高精度運営を実現し顧客満足度向上
 - 先端テクノロジーに対応できるDX人材の育成と活用を推進し、組織力を強化

顧客セグメント戦略2025



進捗状況 (ポイント)

- ✓ ㈱ エムテックの株式交付による子会社化 (ソリューション開発体制を強化し、商品戦略・イノベーション力を拡充)
- ✓ HTK Europe LTD.の株式取得による子会社化 (ハーネス・制御盤を中心とした現地製造機能を取り込み、欧州市場における事業基盤を強化)